



KONICA MINOLTA

News Release

コニカミノルタとトロント大学 5年間の共同研究契約延長に合意 ～AI強化センシング分野の技術獲得の強化へ～

2025年3月21日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）と University of Toronto（所在地：カナダ オンタリオ州トロント市、学長 Meric S. Gertler、以下 トロント大学）は、AI強化センシング分野の技術開発を加速するため、共同研究契約の5年間延長を2025年3月14日に合意しました。

コニカミノルタは、世界中からAIの研究人材が集結しているトロント大学と、2020年9月より画像AI技術の応用システムに関する共同研究を実施しており、画像AIの処理性能向上や製造品質管理へのAI活用、分散システムにおけるAI活用時のデータ処理性能向上につながる技術獲得を行いました。このたびの契約延長により、新たなAI関連技術の獲得を加速させるため、多種多様なセンシングデバイスで取得した大量データのAI処理技術で、環境負荷を低減する材料開発や製造工程の無人化実現を目指した“AI強化センシング”分野の取り組みを強化することにしました。



コニカミノルタは、中期経営計画（2023-2025）における技術戦略として、「強化事業を拡大するための技術開発の強化」と、「将来成長のための技術の仕込み」の2点に注力しています。後者については、想定される将来社会からバックキャストし、自社の保有技術を活かして事業成長に貢献する技術の開発に取り組んでいます。特に「有限な資源の有効活用」と「気象変動への対応」の課題解決に注力しており、コニカミノルタが強みとする「センシング技術+AI技術」を活かすことで、社会課題の解決に挑戦し続けます。

トロント大学は、1827年にカナダで設立された公立大学で、様々な世界大学ランキングで常に上位にランキングする世界トップレベルの研究大学でもあります。医療、バイオ、材料化学、機械産業工学など様々な分野で世界的な研究者を抱え、またそれらの分野でAIやコンピューターサイエンス、ロボット技術を活用した革新的な研究に取り組んでいます。

コニカミノルタ株式会社 常務執行役 技術管掌 江口俊哉のコメント

このたび、世界トップレベルで最先端のAI技術の研究を行っているトロント大学と2020年より行ってきた共同研究の包括協定を継続する運びとなったことを嬉しく思います。

材料設計・開発・製造分野でも最先端のAI研究を進めているトロント大学とのコラボレーションを通じて、限りある資源の有効活用や資源の循環に貢献する材料開発等、環境負荷低減に向けた社会への貢献をより強く推し進めていけると確信しております。

トロント大学 国際パートナーシップ担当副学長 David Wolfeのコメント

コニカミノルタとトロント大学のパートナーシップを2030年まで継続することを祝うことができ嬉しく思います。

コニカミノルタが取り組む様々な領域にまたがる大規模な専門知識を有する研究機関は世界中にトロント大学をおいて他にないと考えており、さらに将来にわたって我々とのパートナーシップを継続されると確信しています。グローバル企業の研究活動と革新的なAIイノベーションハブが協力することを宣言できる今日という日を誇りに思います。

コニカミノルタは、AI、ロボティクス、材料開発技術に関するトロント大学との共同研究により、これからも先進の技術開発を通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 広報部

担当：西上 Tel：070-2186-6872

※西上が不在の場合は森田(090-1960-4887)へ